

まちづくりを楽しもう!!

大津市まちづくりガイドブック

もっと効率よく
仕事をしたい!

地域の
ニーズにあった
まちづくりって?

予算がない!
でも事業は進めたい!

よい関係を
築くコツは?

大津市職員
おおつ光ルくん

課題を見つけよう

パートナーを
探してみよう

課題を共有し、
ゴールを設定しよう

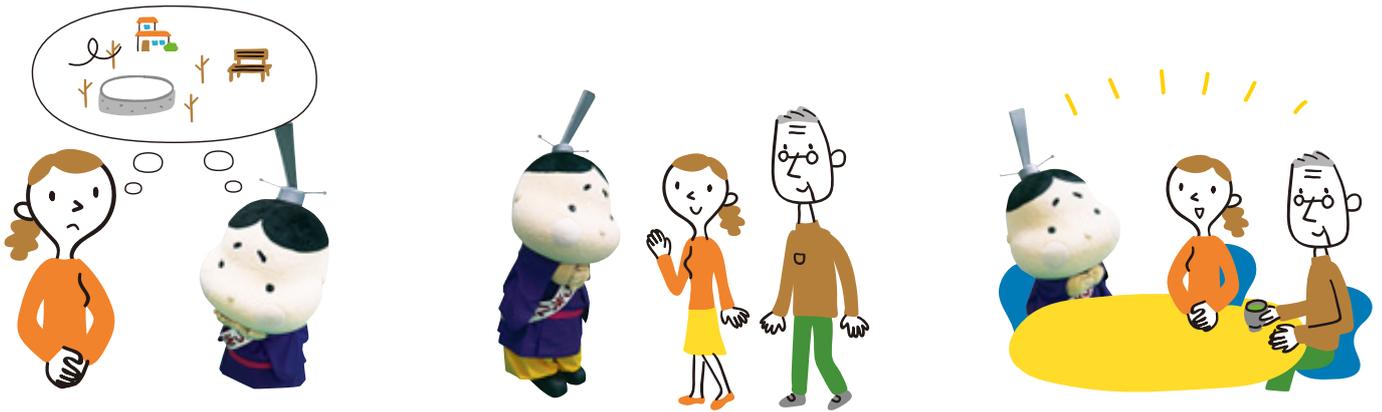
事業の内容と
役割分担を決めよう

地域の实情にあわせて
事業を進めよう

次のプランを
立ててみよう

図解でわかる!!

まちづくりの進め方



STEP1

課題を見つけよう

P.4 をチェック

STEP2

パートナーを探してみよう

P.6 をチェック

STEP3

課題を共有し、
ゴールを設定しよう

P.8 をチェック

- ・課題を見つけるコツは?
- ・連携によるメリットは?

- ・パートナーを見つけるには?
- ・それぞれの特性は?

- ・意見がまとまらない
- ・目標を立てるコツは?

大津市市民活動センターでは、
こんなお手伝いができます!!



各種相談

事業の進め方や団体自立に向けた
組織づくり、資金集めなど各種相談
事業を行っています。



公式HP

人口減少、少子高齢化、地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、地域が抱える課題は複雑化、多様化しています。

また、これまでのように行政が単独で活動するだけでは、解決が難しくなっています。地域の個性を活かし、実情にあったまちづくりを進めるためには、みんなで課題を共有し、一緒に考えることが必要です。

みんなで支えあいながら、個性豊かな新しいまちを目指しましょう！！



STEP4

事業の内容と
役割分担を決めよう

P.10 をチェック

- ・役割や責任の押し付けあいに
- ・どうやって分担すればいい？

STEP5

地域の実情にあわせて
事業を進めよう

P.12 をチェック

- ・事業がうまくまわらない
- ・事業の進み具合が分からない

STEP6

次のプランを
立ててみよう

P.14 をチェック

- ・どうやって評価すればいい？
- ・次に活かせる振り返りのコツ

パートナー探し

各分野で活動している団体や、さまざまなスキルや資格を持ったボランティア団体の紹介を行います。

各種研修・講座

人材育成や、市民団体・地域の各種団体・企業などの連携促進のための講座や研修会を開催しています。

そのほかさまざまな設備が利用可能!

- ・メールボックス
- ・ロッカー
- ・コピー機、製本機
- ・掲示コーナー
- ・会議室
- ・交流スペース



STEP
1

課題を見つけよう

1-1 まちの「困った」を見つけよう!

例えば・・・



大津市職員
おつ光ルくん



市民・市民団体・
事業者・行政など

みんなの力をあわせると

行政だけだと・・・



限界が・・・



新たな憩いの場としてリノベーション!

連携する？連携しない？ 適している事業とは？

きめ細やかで
柔軟な対応が
求められる事業

専門性・先駆性
が求められる
事業

広く市民が
参画することを
求められる事業

地域の実情に
あわせて
実施することが
求められる事業

1-2

みんなで取り組むことで楽しい事業に!

市にもすでにいろいろなパートナーと一緒に事業を実施している課があります。
事例を共有し、具体的なイメージを膨らませてみましょう。

子どもから大人まで世代を超えてふれあい、
語りあう機会へ!!

文化・青少年課 他 × 各種団体

\\ 大津っ子まつり /

子どもたちが心豊かに育つこと、参画団体が相互に交流をはかり、お互いの活動がより一層発展することを目指し、行政と各種団体が協力して開催。



企画段階から新成人等とともに
つくりあげる成人式!!

生涯学習課 × 公募市民

\\ 成人式開催事業 /

成人式の企画段階から新成人等の意見を取り入れることにより、新成人による新成人のためのきめ細やかな、心温まる成人式を開催。



もともとあるスペースを有効活用し、
赤ちゃんの外出を応援!!

子ども家庭課 × 事業所

\\ 赤ちゃんの駅事業 /

子育て家庭の外出を支援するため、外出中の授乳やオムツ替えで、気軽に立ち寄ることができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録します。

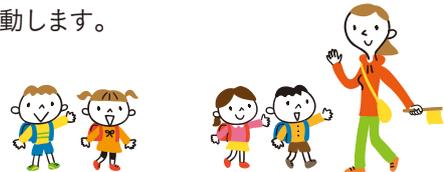


次世代を担う子どもたちのために
教育環境の充実を!!

地域 × 家庭 × 学校

\\ コミュニティ・スクール /

子どもたちの教育環境を充実させるために地域・家庭・学校が共通の目標を定め、その目標の実現に向けて、それぞれが役割を自覚・分担し、協働で活動します。



今後も事例を集め、ホームページにもどんどんあげていきます!
事例があれば自治協働課へお知らせください!

連携して事業を実施するメリット

地域力の向上につながります!

市民

ニーズにあったきめ細やかで柔軟な公共サービスを受けられるようになり、相互扶助や地域自治の意識も醸成されます。

団体

目標を達成するうえで、資金不足や人手不足などの問題が解消。継続的・安定的な活動を行えるようになります。

事業者

社会貢献活動を行うことにより企業評価が向上します。また、事業機会の拡充にもつながることができます。

行政

行政だけでは解決が困難な課題を解決することができるようになり、市民サービスの向上につながります。

STEP 2 パートナーを探してみよう

パートナーにはどんな人がいるのかな



地域には地域のために行動したいという思いを持つ方がたくさんいます。まずは、それぞれの団体や、市民の方に話を聞いてみましょう。

自治会・各種団体



行政と市民との橋渡しの役割を担うとともに、地域内での人的ネットワークをつないでいる組織。

ボランティア団体



ボランティアにより地域や社会をよくしていこうという人が集まる自主性、機動性を持った団体。

市民活動団体・NPO

社会的な課題を解決していくために組織された、公益的な目的を持って自主的に活動している団体。



事業者

地域との連携による社会貢献活動、公益活動への参画が増加。



このほかにも、学生、退職シニア、子育て中の方など、いろいろな立場の中で、まちづくりに参画してみたいと思っている方がたくさんいます。それぞれの特性や、状況を理解したうえで一人でも多くのパートナーを発掘してみましょう。



ポイント パートナー探し

大津市市民活動センターには、市民活動団体やボランティア団体が登録されています。パートナーを探す際には、大津市市民活動センターに相談してみましょう。



TOPIC

効率的に事業を進めるために!!

みんなで集まる前に

準備をしよう

例えば・・・



地域の公園の管理を
どうしていけばいいのかな



意見を聞こう

まずは市民・市民団体や
事業者、関係課など、関
わってもらえそうな人に
話を聞きましょう。

高齢者が集まりやすい
場所にしたいですね



花を植えて、
環境を整えたいな

子どもと一緒に
ゆっくりしたいね

キーワードについて情報を集めよう

よく出てきたキーワードはありましたか？そのキーワードが地域のニーズにつながります。そのキーワードについて、事前に情報を収集しておきましょう。

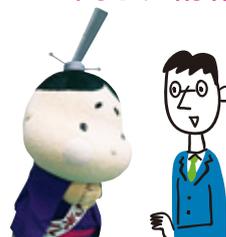
使いそうなツールを調べ、
リストアップ



助成金などについて
ネットで検索



関係のありそうな
課に話を聞き、情報収集



例えば、助成金や、資材の提供などについて、事前にできるだけいろいろな情報を収集しておくことで、その後の効率的な事業の実施につながります。

庁内でも、できるだけいろいろな人に声をかけてみましょう。

また情報収集の際には、大津市市民活動センターに相談してみましょう。

STEP
3

課題を共有し、 ゴールを設定しよう

3-1

それぞれの考える課題を出しあおう

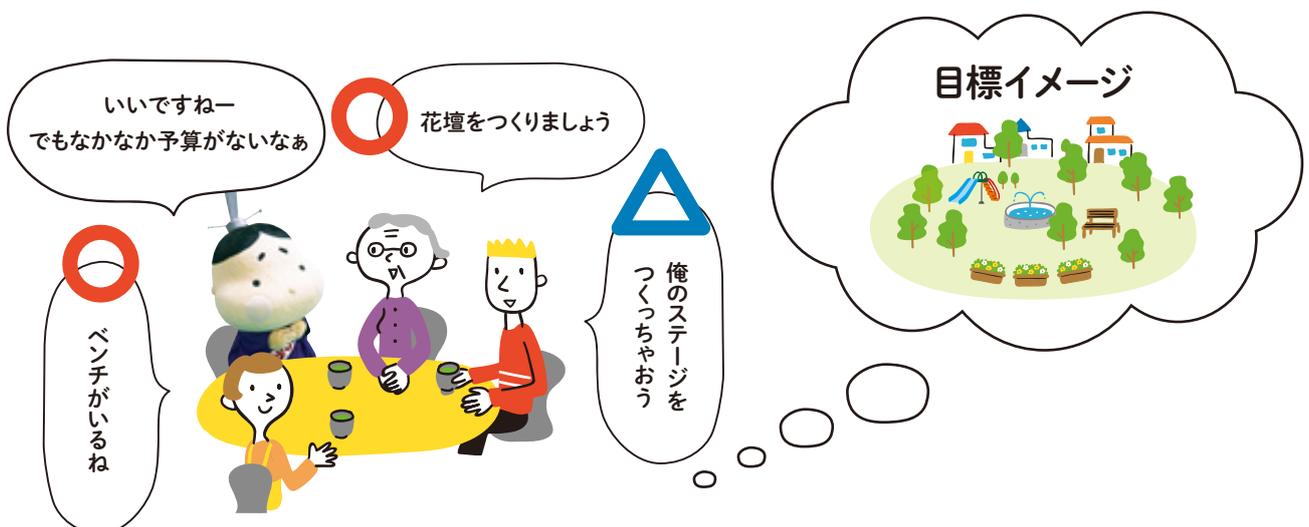
まずは地域の課題や今取り組んでいる事業について、みんなで意見を出しあいましょう。こうした意見交換は市民の当事者意識や主体性を高めることにもつながります。



3-2

みんなで取り組む課題と解決策を決めよう

多くの方が事業に参画していくにつれて、意見を100%一致させることは難しくなります。例えば、一見独りよがりに見える課題(△)であっても、新たなパートナーが参画し、意見交換することでみんなの共有課題になることも。みんなの地域に対する思いに耳を傾け、柔軟に意見を取り入れていきましょう。みんなで一通り課題を出しあった後、一緒に取り組む課題を決定し解決策を考えましょう。



3-3

最終目標とスケジュールを決めよう

共有した解決策をどの順番で取り組むのか、短期的・長期的なスケジュールを作成し、みんなで共有しましょう。また、最終的なまちの理想像も言葉や図にして共有しましょう。

1年目 花壇をつくりましょう



はなやかに
なったね!

みんなで集まれる
ステージって
よくない?



2年目 ベンチ、ステージをつくりましょう



材料は持って
来れるよ!



みんなで持ち寄ろう!

地域にはさまざまな資源があります。足りないものを持ち寄りながらみんなで取り組んでみましょう。自分たちで作り上げることで地域に対する愛着も生まれます。

3年目、4年目と
目標を達成していくうちに...

最終

人が集まるようになり、新たなパートナーも!



人が集まってきてるね!
お店を開いてみたいな!



柔軟に対応しよう!

新たなパートナーの参画や課題の発見により、事業がスケジュール通りに進まないことも。反対に事業が進む中で、波及効果により新たな展開が生まれることもあります。当初のスケジュールに縛られることなく、定期的に協議や見直しを行い、地域の実情にあわせて柔軟に対応しましょう。

STEP 4

事業の内容と 役割分担を決めよう



4-1 事業を進めるための5つの心構え

① パートナーとはあくまでも「対等」の関係！

お互いの役割を認識し、それぞれが自分たちの意思にもとづき行動できるような関係を築きましょう。

② みんなの自主性・自立性を尊重しよう

各主体が自分たちの課題であることを認識し、決まりごとを守って自立的に行動しましょう。

③ それぞれの強みや違いを理解しよう

お互いの特性や得意、不得意を理解するよう努め、相乗効果が生まれるようにしましょう。

④ 情報はみんなで共有しよう

それぞれがまちづくりに必要な情報を発信・共有し、実施する過程や内容の透明性を高めましょう。

⑤ 具体的な目的をみんなで決めよう

事業の課題や目的を明確にし、具体的な目的をみんなで共有しましょう。

4-2 得意を活かした役割分担をしよう

事業の中での役割を分担するために、まずは相手のことをよく知るところから始めましょう。

お互いの得意を理解し、それらを活かしあえる役割分担を考えましょう。



Point 事業実施前に役割を明確にすることで、それぞれが主体的に事業に取り組むことができます。また事故や問題が起こった際、迅速に対応できるよう、リスク分担についてもあらかじめ十分に協議をしておきましょう。

TOPIC その1

書面作成のコツ

事業内容を書面化してみよう!!

事業内容が決定したら決定事項を共有できるよう、協定書等の書面を作成してみましょう。お互いの解釈の相違がないよう、十分に確認しながらつくりましょう。

協定書内容例

事業目的

公共的な事業目的や連携することで期待できる効果などを明記しましょう。

役割分担

それぞれの段階ごとに役割分担やリスク分担について明記しましょう。

支払い時期

支払い時期について団体と協議し、明記しておきましょう。

事業費

科目ごとの金額や単価などを示した見積等により決定しましょう。同種事業との対比などにより費用対効果についても検討しましょう。

事業期間・スケジュール

事業計画や実績報告等の事務手続きに要する時間も配慮し決定しましょう。短期的・長期的なスケジュールについて検討しましょう。



TOPIC その2

活動の支援方法

支援を検討しよう

連携する市民団体やNPOによっては、活動基盤が脆弱な団体もあります。それぞれの人的資金的状況を見定め、今後の事業展開において基盤整備が必要だと判断した場合は、組織に対し助言をするなど、団体への支援を検討しましょう。



資金調達について

クラウドファンディング、市民ファンドなど、資金調達にはさまざまな方法があります。詳しくは、大津市市民活動センターへご相談ください。



STEP 5

地域の実情にあわせて事業を進めよう

現場に
行ってみよう!!



事業を進めるうえでのポイント

事業を円滑に進めるためには、一緒に取り組むパートナーとの信頼関係を築きましょう。日頃から連絡を密にとり、直接話しあうことでお互いについての理解や情報共有を進めましょう。

●成果の確認をしよう

段階ごとに事業成果を確認しましょう。その際、現場に足を運んでみることで、事業の進捗が確認できるとともに、新たな発見や出会いがあるかもしれません。

●連絡は綿密に!

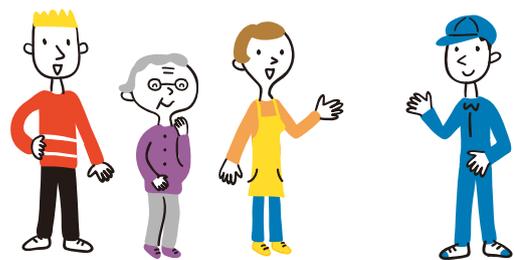
事業の効率化や、パートナー同士の円滑な合意形成のためにも、連絡は密にし、認識を一致させようとして事業を進めていきましょう。

●ニーズにあう見直しをしよう

市民サービスの向上につながる事業とするため、地域のニーズは常に意識しましょう。地域の実情にあわせた課題や目標となるよう随時見直しをしましょう。

●みんなに呼びかけよう

事業の途中でも、新たなパートナーにはどんどん参画してもらいましょう。新たな課題の発見や、事業をよりよいものへと展開していくきっかけとなります。



Point!

● 事業を進めるために

1. 事業に行き詰まったとき!!

まずは現状を把握するとともに、今の状況を共有しましょう。事業の進捗についてそれぞれが認識したうえで、役割分担やスケジュール等を実情にあわせて見直し修正しましょう。時には、専門家に相談したり、ほかの事例を参考にしてみることも大切です。

2. リスク分担をしっかりと!!

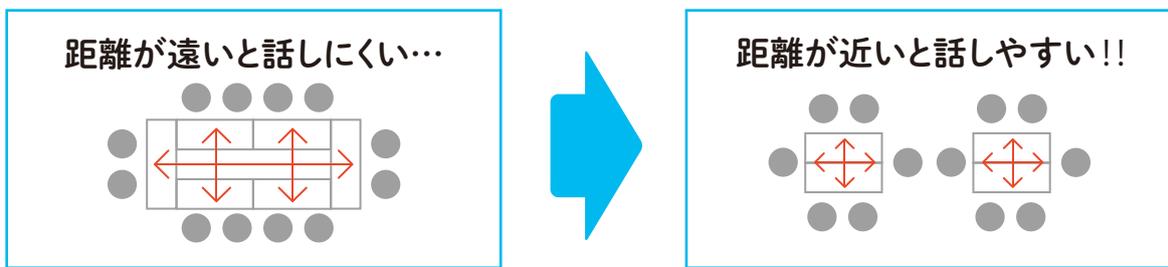
リスク分担を明確にすることで、受益者である市民の安全が守られるよう迅速な対応が可能となるとともに、お互いが安心して事業に取り組める環境を整えることができます。決定事項については書面を交わすなどして、解釈の違いがないか確認しましょう。

会議のコツ

机やホワイトボードの使い方を少し工夫することで、対等で活発な会議の場をつくることができ円滑なコミュニケーションが行えるようになります。

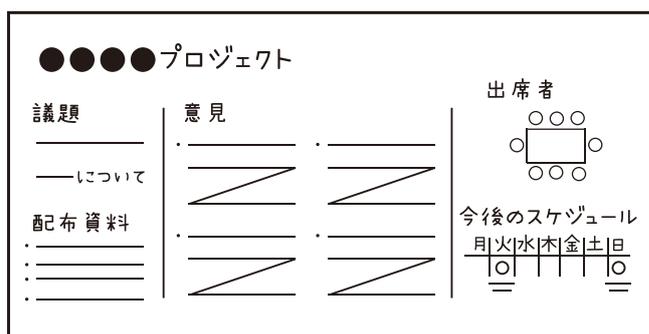
話しやすい空間づくり

口の字型のレイアウトは、相手との距離が遠く、意見を出しにくい場合があります。机をつけて島型にすると、物理的・心理的な距離が縮まり意見が出しやすくなります。また、小さいグループに分けることで効率的に全員の意見が聞け、参加者の満足度も上がります。最後は、参加者全員で出された意見を共有しましょう。



ホワイトボードを活用しよう

ホワイトボードに、議題、配布資料、意見、出席者、今後の予定を書くようにしましょう。発言が聞きとれなかったときは、「こういうことですか?」と確認しながら書きましょう。



Point! **ふせんも活用しよう!**

課題や意見を出すときには、ふせんなどを使って可視化しましょう。書いたふせんをみんなで出しあい、どんな課題や意見があるか共有しましょう。

会議はみんなで

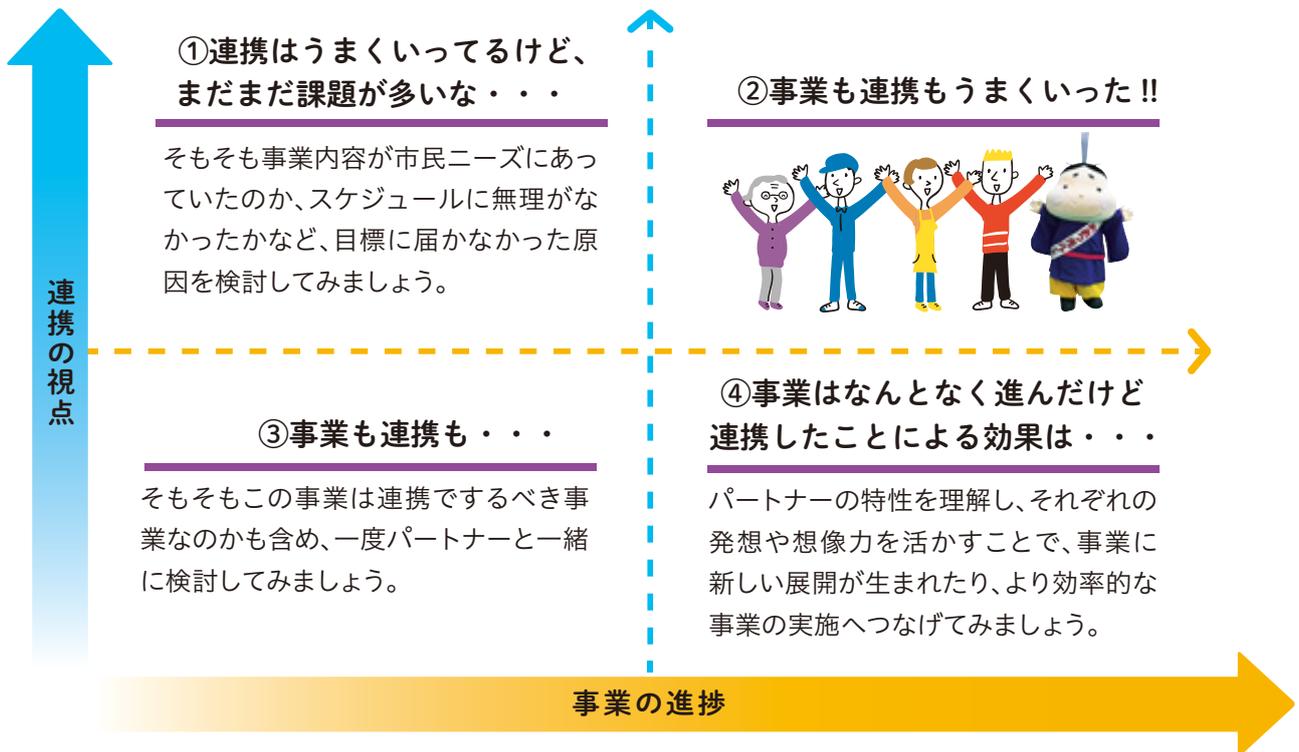
一つの団体に何でも任せるのではなく、みんなで会議の準備をするなど、どの団体も主体的に会議に臨めるよう工夫をしましょう。また、会議中はみんなに質問をしたり、相談を持ちかけるなど、出席者全員に当事者意識が芽生えるようにしましょう。

STEP 6

次のプランを立ててみよう

6-1 事業を評価してみよう

「パートナーとの連携」「事業の進捗」の2つの視点からの評価軸で、事業を評価しましょう。
市民サービスの向上につながるような事業を効率的に進めるためには、連携の視点も重要です。自分たちが①から④のどの部分にいるのかを把握し、事業の見直しに活かしましょう。



6-2 プランを見直してみよう

事業評価の結果を踏まえて、課題やスケジュールの再設定、新たなパートナー探しなど必要なステップから再度スタートしましょう。この繰り返しにより、事業がよりよいものに育ちます！事業の進捗に応じて助成金の検討や、行政内部でも横断的に体制を整えることで幅広い取り組みへと展開していきましょう。





事業の現場で使える Q&A



Q 協働に適した事業は？

A 各主体の知識、経験、専門性を活用できる事業！

地域の実情にあわせて実施することが必要な事業や、きめ細やかで柔軟な対応が求められる事業、専門性、先駆性が求められる事業などは、協働に適しています。

Q 協働の取り組みは仕事が増えませんか？

A 長期的には時間以上の成果！！

確かに相手方との調整のため時間や労力がかかることも。しかし将来的には事業の質の向上や経費削減につながる可能性も。長期的視点で協働の必要性を検討しましょう。

Q どの段階から一緒に事業を進めていけばいいですか？

A スタートから一緒に考えていきましょう。

どの団体と連携して事業を実施するのか、共有する課題やスケジュールなど、事業の企画段階から一緒に進め、事業をともに作りあげていきましょう。

Q 事業を継続させるにはどうすれば？

A それぞれが主体的に活動に参画しましょう

事業の継続には、みんなが主体的に参画するためのモチベーションの向上が重要です。事業に対する協議の機会を増やし、みんなの力が必要であると伝えましょう。

Q 意見が合わない場合は、どのように調整しますか？

A 協議のポイントは「市民の利益」！！

事業の共通の目的である「市民の利益」につながるかを基準に、お互いの意見を出しあい双方の合意点を見出し、win-winの関係を目指しましょう。

市職員として・・・

今後、大津市が住み続けたいくなるまちとして発展していくために、市職員としてどんなことができるでしょうか。自分ひとりだけだと限界を感じることもあるかもしれません。そんなとき思い切って市民の誰かに声をかけてみませんか。市民と直接対話ができる市職員だからこそ、市民とともに地域のことを考え、市民と一緒に楽しいまちづくりができるのでは。市民をまちづくりのパートナーとして、市民の持つ可能性と創造性を引き出し、魅力ある大津市をつくりましょう。

また、頼りになるのは市民だけではありません。市職員同士も、組織の枠にとらわれず、お互い声をかけあうとともに、知識と経験を活かし、アイデアをどんどん出しあいましょう。



一つの課だけでは解決できない課題も

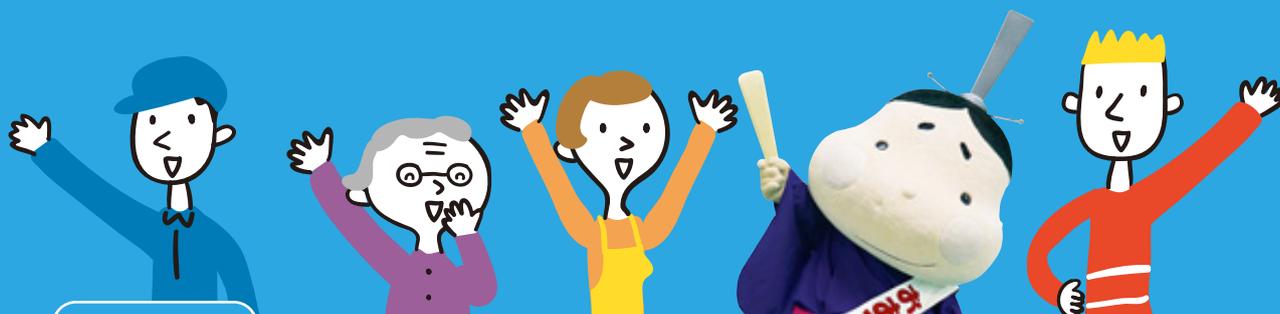
みんなで取り組めば

解決の糸口がきっと見えてきます！

さまざまな人たちを巻き込んで

「協働のまちづくり」の未来を

一緒に考えていきましょう！



相談窓口

大津市市民活動センター

大津市には、市民・市民団体、事業者、市による「協働のまちづくり」を進めるための「大津市市民活動センター」があります。

所在地：大津市浜大津 4-1-1（明日都浜大津 1 階）
電話：077-527-8661
開館時間：9:00-22:00
休館日：12月29日～1月3日（その他明日都浜大津の設備管理保守などにかかる休館）
mail：moveinfo@movementotsu.com



発行：大津市市民部 自治協働課
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町 3-1
電話：077-528-2730（直通） FAX：077-523-0411
メール：otsu1130@city.otsu.lg.jp

（ホームページ掲載用）